

日本YMCA同盟

THE
YMCA

The Young Men's Christian Association News



No.790 2019

2019年10月1日発行（毎月1日発行）
1947年10月27日 第三種郵便物認可
本体価格45円（外税）（送料62円）
発行／公益財団法人 日本YMCA同盟
〒160-0003 東京都新宿区四谷本町2番11号
TEL：03-5367-6640 FAX：03-5367-6641
URL：http://www.ymcajapan.org/
発行人／神崎 清一 編集人／山根 一毅
印刷／あかつき印刷株式会社



つながる災害支援



2019年8月23日「静岡県災害ボランティア本部・情報センター」立上げ訓練の様子

OPINION

あらゆる人に支援が届く、 新しい災害支援の文化を目指して

特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)
代表理事 栗田 暢之

最近の地球がどこかおかしいことは、誰もが気付いている。「異常気象」などがまるで日常化したかのように、頻発する「想定外」の災害は、今を生きる私たちにとって切っても切れない関係になっている。

ひとたび災害が発生すれば、多くのボランティアが駆け付けることは、1995年阪神・淡路大震災以降、定着してきている。その後、全国の社会福祉協議会などのたゆまぬ努力により、「災害ボランティアセンター」が、災害発生直後に設置されるようになった。

一方で、ますます進む日本社会における少子高齢化や地域コミュニティの希薄化、地方の過疎化は、被災者ニーズの多様化・複雑化までも表面化することになる。例えば、熊本地震では、関連死が直接死の4倍以上となった。その背景には、車中泊を含む厳しい避難環境が影響し、特に災害弱者と言われる高齢者、障がい者などの「いのち」が脅かされる事態となった。しかし、このような非常事態の対応には、災害ボランティアセンターに駆け付ける「個人ボランティア」ではおのずと限界がある。

そこで必要とされたのが、専門性の高いスキルを持ったNPO・NGOなどの存在である。東日本大震災では、推計3,000団体が支援に当たったとされる。個々の団体はそれぞれ全力で支援をしたことは言うまでもないが、しかし、互いに連携できたかといえば、明確なところは分からない。なぜなら、十分な準備やルールが整っていたかどうか不明だからである。

この反省をもとに、「JVOAD」は2016年11月に設立された。以降の災害では、NPO・NGOなど民間支援セクター同士が連携する場として「情報共有会議」が実施されるようになった。さらに、災害救援の柱である「行政セクター」や前述の「社協セクター」との「ヨコ軸」をつなぐ「三者連携」の重要性も、災害のたびに強調されるようになってきた。

現代社会と災害とは、もはや無関係ではいられない。支援側のこうした連携・調整機能を充実させることで、被災地全体に、漏れやムラのない支援が届く新しい災害支援の文化を定着させたいと考えている。

このチャレンジをぜひ一緒に。



(OPINION…意味は「意見・見解」など。『THE YMCA』では毎号、関係ある団体・個人からの意見や提案を掲載します。)

●全国のYMCAのさまざまな活動はこちらからもご覧いただけます。<https://www.ymcajapan.org>

裏面へ

エリアセーフティがスタートします

日本のYMCAでは、災害時エリアセーフティガイドライン（以下、ガイドライン）を策定し、東日本・中日本・西日本の3地区で運用を開始しました。

毎年7月に開催の西日本（三水区）地区YMCAスタッフ研修においては、「エリアセーフティ」をテーマに、ガイドラインの共通理解、人道支援活動事例から必要な備えと取るべき行動について協議をしました。

人道支援活動では、熊本地震の際、益城町総合体育館避難所において、「犬猫家族プロジェクト」でYMCAと協働いただいた岡本文利さんから、ペットを飼う家族の災害支援の仕組みを構築された事例報告を受け、平時から行政や他団体との連携の必要性などを学ぶ機会となりました。



エリアセーフティ基本方針を説明する担当者

ディスカッションでは、災害支援だけでなく全国、エリアのYMCAネットワークの必要性や有効性を再確認し、また、発災時の「自助」「共助」「公助」を整理した上で、会員・学生・スタッフの意識を高めておく必要性を確認しました。これらのことは、今後、各施設において引き継ぎ、近隣諸団体と共に楽しみながら取り組む「近助」を意識することを確認しました。

避けて通ることのできない自然災害に対し、これまでの経験を生かして、物理的なことだけでなく、人道的支援を通じて、精神的にも被害を最小限にとどめることを目指し、創造的に取り組んでいきましょう。

西日本地区YMCAエリアセーフティネットワーク
担当総主事 大塚 永幸（福岡YMCA）

被災児ケアのための「あそぼうキャンプ」

8月23～25日、「阿蘇」の地で、次代を担う子どもたちが、未来を「望む」意味を込めて、8回目の「あそぼうキャンプ」を行いました。東日本大震災、九州北部豪雨災害、熊本地震で被災した子どもたち37人が、大自然の中、YMCAのキャンプを通して互いの不安な気持ちに寄り添い、相互の交流と絆を深めることができました。



最終日、笑顔で記念撮影

出会いの1日目、少し緊張した表情が印象的だったメンバーたち。水源散策、グループワークを通して、少しずつ心の氷が解けていきました。また、精神科医や臨床心理士、小児科医やカウンセリング、キャンプの専門家がサポートし、メンバーに寄り添いました。

2日目の乗馬は、毎年人気のプログラムで、馬に身を委ねることで心身ともにリラックスできます。午後はチャレンジプログラム、ブルーベリージャムづくり、火おこし、竹細工、ピザづくり、ラーメンづくりに分かれ、各々楽しんでいました。2日目の夜、キャンドルを囲み、キャンプの振り返りをしました。火を前にすると、メンバーもリーダーも素直に話すことができ、感動的な瞬間でした。

最終日、クロージングセレモニーでは、ロープにつないだミサンガを一人一人が腕に着け、絆を確認。来年また会えることを誓ってお別れをしました。自然は脅威だけでなく、癒しを与えてくれます。そのことを実感できる素晴らしい3日間でした。

熊本YMCA 本田 奈緒子



YMCAキャンプ100年記念シンポジウム2019
「キャンプの可能性」
2019年11月2日(土)～3日(日) 熊本YMCA阿蘇キャンプ場

Positive Net NEWS

ポジティブネット…互いを認め合い、高め合うことのできる、人の尊厳や前向きな気持ちによってつながるネットワーク

一般財団法人日本宝くじ協会から寄贈



被災地から4チームが参加した「被災地小学生サッカー大会」(仙台YMCA)

一般財団法人日本宝くじ協会より、全国YMCAが行う地域奉仕プログラムのために、集会用テント37張、青少年育成プログラムのために宿泊用テント23張を寄贈いただきました。テントは全国22YMCAのキャンプ場および施設

に配布され、それぞれの地域活動や青少年育成のための活動に使われます。

7月16日には、日本YMCA同盟にて目録の受領式が行われました。受領式では昨年度の活用報告があり、仙台YMCAにおいて被災地小学生サッカー交流大会でテントを活用した様子が報告されました。

2019年度世界YMCA/YWCA合同祈禱週

世界YMCA・YWCAでは、11月の第2週目の日曜日からの1週間を合同祈禱週として、毎年一つのテーマをもとに、聖書からのメッセージを聴き、祈りを共にするときとして定めています。今年は以下のテーマのもと、祈りを合わせます。

テーマ：Young Women Transforming Power Structures for Gender Equality
ジェンダー平等にむけて、若い女性たちが権力構造を変革する(仮訳)
日程：2019年11月10日(日)～16日(土)

アジア・世界のYMCAから

□グローバルユースイベントYMCA175

【ヨーロッパYMCA同盟】

2019年は、YMCAにとって記念すべき175周年です。175年前、22歳のジョージ・ウィリアムズは若者たちとコミュニティの変革を祈り、YMCAを設立しました。その時から、若者たちがグローバルリーダーとして、未来を形づくっていく前向きな変化が始まりました。



2019年8月4日から8日までの5日間、ロンドンで行われたグローバルユースイベントYMCA175には、世界100カ国以上からおよそ3,000人のユースリーダーが集まりました。日本からも5人のユースがこのイベントへ参加しています。

YMCA175では、基調講演やパネルディスカッションのほか、ワークショップやスポーツエリア、コンサート、リラクゼーションスペース、展示などが、多くの参加者に開かれていて、自ら何を考えたいか、感じたいか、楽しみたいかを選んで参加しました。

すべてのセッションは、SDGsの項目の中から、YMCAの活動する領域とユースの考える優先事項に基づいて設定された「健康と福祉」「経済と雇用」「市民参画」「環境」をキーワードに、4つのいずれかの領域に設定されていました。

世界から集まったユースと、「ユース・エンパワーメントが世界を変える」という強い思いを共有し、新たな気づきや知識を得て、それぞれの持つビジョンを分かち合うことによって、地球市民としての意識を高める5日間となりました。

●記事の続きは日本YMCA同盟の「世界のYMCA」ページに掲載しています。ぜひお読みください。

日本YMCA同盟 検索